



小栗上野介情報66

ホームページ <http://tozenzi.cside.com/> Eメール: sharmila@theia.ocn.ne.jp

2017(平成29)年 1月

発行 東善寺住職 村上泰賢

群馬県高崎市倉渕町権田169

〒: 370-3401

TEL&fax: 027-378-2230

振替 00120-1-406206 東善寺

小栗上野介の盟友 **栗本鋤雲の史跡・函館** を訪ねる

■小栗上野介とともに幕末の近代化を進めた栗本鋤雲の史跡を函館を訪ねると、世のため人のために活動した彼の人柄も浮かび上がってきます。

久根別川 ▼ 栗本は八王子千人同心の子弟を招いて七重村の開拓に当たらせ、生産した木炭・野菜を船で函館に運べるよう

久根別川を浚渫し、戻りの船に箱館から町民の屎尿を運んで肥料とさせることで、開拓民と町民からともに喜ばれた。七飯町歴史館の初代館長清川清悦さんに川を案内してもらった。



旧宅跡 (船見町5番地)

栗本は船見町5番地あたり(いま雑木林)に住んでいた。栗本が勤めていたころの箱館奉行所は現在の元町公園にあったが、外国の軍艦からも丸見えの場所だったため、栗本が江戸へ戻った翌年元治元年(1864)五稜郭内に移転した。



▲栗本鋤雲 (東善寺境内)



赤松街道 七飯町への国道5号線17キロの「赤松街道」は「日本の道100選・赤松並木」になっている。明治9年(1876)

明治天皇の行幸に際して植えられたとされているが、もともと蝦夷には赤松がなく、栗本が佐渡から毎年取り寄せたマツ・スギの種子が御薬園で数十万本の苗となっていたもの。



▲日本の道100選「赤松並木」は走って楽しい

七飯町歴史館

函館の隣七飯町の歴史のほか、栗本鋤雲の業績も丁寧に紹介し、見ごたえがある。函館に行く歴史ファンは必見の立派な施設。



◆函館で講演

「小栗上野介と栗本鋤雲の日本改造」

平成28年9月28日(16:00~) 函館「海の庵」 栗本鋤雲は函館の歴史ファンにかなり知られているので、江戸へ戻ってから小栗上野介と語り合っただけで幕末の日本改造についても知ってほしいというボランティア講演。史料が目にとまることを期待して権田村農民出身の池田伝三郎が会津~箱館戦争で戦っていることも紹介した。

▲会場「海の庵」は元商家だった

市立函館病院 栗本鋤雲は医学所を開いて、医学研究と町民の治療にあたらせた。箱館戦争



たかまつりょううんで高松凌雲が敵味方を区別せず治療したのもこの医学所。現在は立派な市立函館病院となっている。

◆横須賀市で

ヴェルニー・小栗祭 式典

11月12日(土)横須賀市ヴェルニー公園胸像前でヴェルニー小栗祭式典が行われ、小栗上野介顕彰会も市川平治会長始め役員が早朝出発で参列。式の後、丁寧かつわかりやすいガイドを受けて記念艦「三笠」を見学し、小栗上野介ー横須賀造船所ー東郷平八郎のつながりを確認した。



▲海上自衛隊横須賀音楽隊の演奏 「小栗のまなざし」を情感こめて演奏

◆筒針城研究会が横須賀の歴史ツアー

11月17日(木) 愛知県岡崎市筒針町は、小栗家の先祖が家康に従って江戸に出るまで居住していたゆかりの地。小栗家が住んでいた筒針城を調べている地元の筒針城研究会が、軍港巡りツアーのあと事前許可を得ていた米軍横須賀基地に入り、慶応三年着工～明治四年に完成した1号ドック初め2、3号ドック、などの施設見学に住職も同行。研究会は平成29年に正式発足させて、愛知近辺の小栗上野介ファンの活動の場とする計画。



◆アンコール放送のお知らせ

NHK②Eテレ「知恵泉」で小栗上野介を紹介します。

- ・2月21日(火) 22:00～/・2月28日(火) 正午12:00～
- ・海外放送 2月23日(木) 15:00～

◆講演 喜多方市熊倉公民館で

喜多方市熊倉は小栗道子夫人らを護衛して会津に入り、会津軍に参加して戦死した佐藤銀十郎の墓を地元の方が守ってくれている地。2018平成30年9月に没後150周年祭を行いたいということで、前景気づけになればというボランティア講演。平日の昼間にもかかわらず、歴史春秋社阿部社長はじめ熱心な歴史ファンが大勢参加してくれた。



▲上州から会津まで来て戦った農民佐藤銀十郎…

◆日本鉱業史研究会 下仁田大会で発表

「小栗上野介の鉄山開発・製鉄所建設建議」村上泰賢



10月15日(土) 下仁田町公民館で開かれた全国大会で幕末の中小坂鉄山の開発を進めた小栗上野介と、技術者武田斐三郎の業績を発表紹介した。

▲二日目は現地研修で世界遺産「荒船風穴」見学

◆竹村育貴氏デザインー小栗上野介の画像

イラストレーターの竹村育貴氏(盛岡デザイン専門学校教員)が描いた「小栗上野介」画像の使用許可を氏から受けましたので、今後いろいろに使用します。目元や口元にワシントン海軍造船所見学の写真の面影をよく表していて、日本の行く末を見つめて着実に近代化を進めた人柄をしのばせるシルエット画像です。



©竹村育貴

本堂屋根等
改修工事します

□本堂屋根の雨漏り対策、また瓦屋根を銅板に換えることで屋根を軽量化し、予想される地震と雪害対策を目的として、一月～九月に工事を行います。

□仮本堂：本尊 釈迦三尊像を仮本堂の大広間に移し置もはがすため、本堂は使用できませんが、小栗公の墓参は普通にごできます。

□ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。